

NEWS

モリコロパーク「もりの学舎」 春休み特別企画を実施

愛・地球博記念公園内の環境学習施設「もりの学舎」では、3月23日（土）から4月7日（日）まで、
主催：愛知県、特定非営利活動法人もりの学舎自然学校、
協力：（一社）愛知県産業廃棄物協会により、春休み特別企画を開催しました。

期間中は特別プログラムとして、紙トンボ、光の小箱、きみのフォトフレームなどのエコ工作が体験できる「あそび工房」、エコや自然をテーマにした「紙芝居・絵本読み聞かせ」、「さわってさがそう」が開催されました。通常プログラムの季節の自然にふれながら、ゆっくり森を楽しむ「インタープリターと歩くもりのツアー 森コース・かめの池コース」、「インタープリターと森あそびしよう！」

も同時開催されました。

開催初日の23日（土）は、寒の戻りからか午前中は肌寒く感じましたが、午後からは気温も上がり多数の来館者がありました。各プログラムの参加者はほとんどが家族連れでしたが、中には若い方の参加もあり、展示されたパネルを見て、ごみ問題、リサイクル、地球環境へ関心



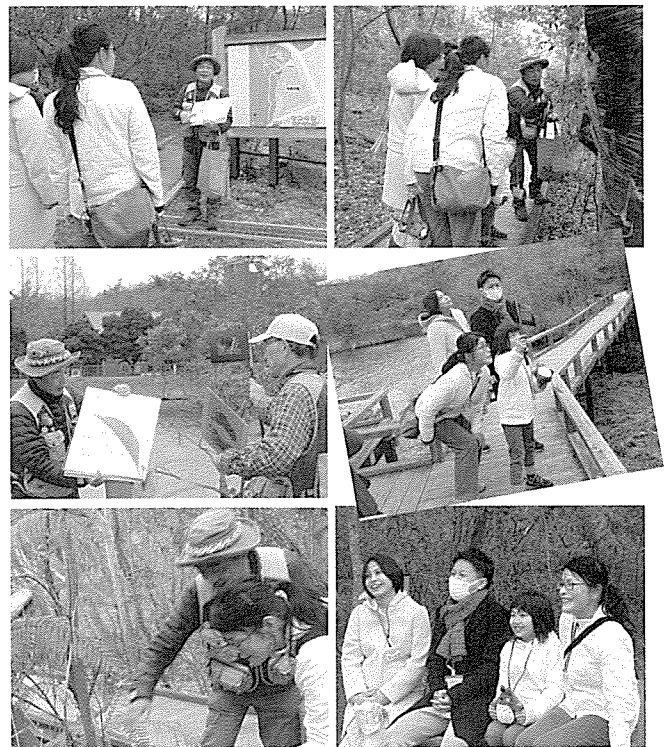
来館者の方の楽しい4Rのパフォーマンス

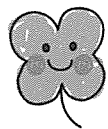
を示され、廃プラスチック類の処理、業界の人材雇用等について質問がありました。館内の遊具や視聴覚施設を利用し、屋外でインタープリターとのあそびを通じ自然に触れることは、環境に関心を持つ良い機会といえ、広く一般の方へ愛産協の取り組みがアピールできた春休み特別企画でした。

館内 Photo



かめの池コース





インタープリターって？



かっぱーさんに 突撃インタビュー！

◆インタープリターになられたきっかけは？

2005年に開催された愛・地球博のテーマである森や環境への取り組みに共感しました。その時、愛・地球博に何らかの形で関わりたいと思いました。万博終了後、インタープリターの募集を知り、応募してインタープリターになりました。

◆インタープリターとは何をしますか？

森のツアーでは、参加者に森の話をして、山中の木、枝を見て本来の自然の姿に気づいてもらえるようにガイドしています。最後に、「森っていいね」、「また来たいな」って言われると、とてもうれしいです。

もう一つ、家族連れの参加者の時、お子さんの小さな気づきを、ご両親がとてもうれしそうな顔を見て見えています。その微笑ましい様子を拝見して私もうれしくなります。森を縁として、子どもの良いところ、両親の良いところを見つけられる、インタープリターは自然と人の橋渡しのような役割を担えることが、とても素晴らしいと感じています。

◆インタープリターは資格が必要ですか。

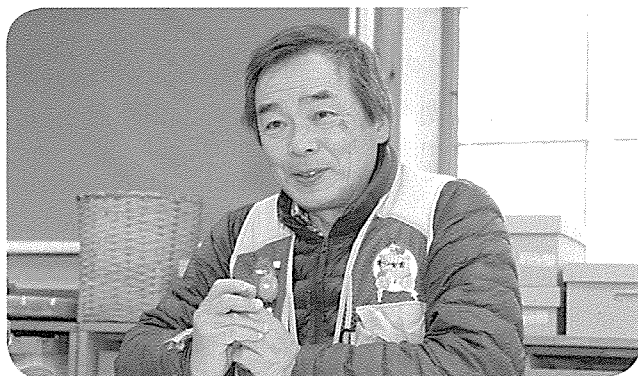
各組織により異なるようですが、ここ(もりの学舎)では、インタープリターの概要やツアーの方法、他にも研修を受けインタープリターになります。私は愛・地球博から数えると3期生になります。

◆他にも何か活動をされていますか。

年数回小学校へ環境学習の出前授業へ行きます。他には環境カウンセラーをしています。

◆かっぱーさんのニックネームの由来を聞かせてください。

私は泳ぐことが好きで、かっぱのようにスイスイ泳げるようにと、このニックネームにしました。覚えてもらいやすいでしょ！



◆最後にメッセージをお願いします。

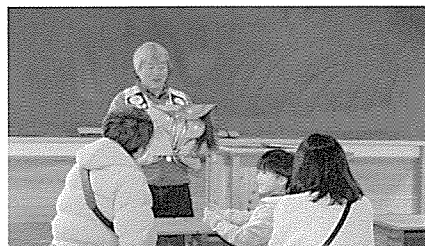
環境については、ひと手間かけていかなくは、どんどん悪くなっていくと思います。例えばごみでもきちんと分別する、ひと手間かける、それによりリサイクルができ、ごみが少なくなると思います。

かっぱーさん、いろいろ教えていただきありがとうございました。

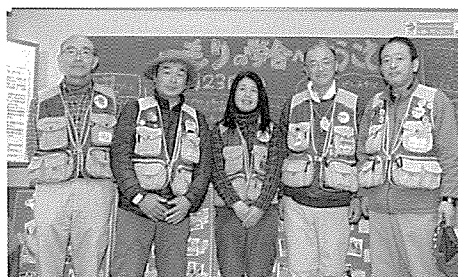
インタープリターさんと行くもりのツアーは、誰もが森の中で大発見をして、大きな木、葉っぱや木の実、花の芽、虫に関心を持つようになります。

ぜひ「もりの学舎」へお越しください！

モリゾー&キッコロに会えるかもしれません！？



ビンブーさん



しばさん、かっぱーさん、ばばりんさん、かっちんさん、こいさん

